※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日

2019年10月17日

派遣決定番号 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市役所			代表者名	多々見 良三
担当者部署	舞鶴市教育委員会		連絡先電話番号	0773-66-1072	
担当者役職		担当者氏名		連絡先E-mail	
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

又及び又りたり		
アドバイザー	藤村 裕一	
評価	大変よい	
中(どのよう	に、提案の中で、仕様書に加えるべき項目について	に講評いただき、これから事業者へ求める内容について助言いただくととも 取捨選択いただいた。 ついて、先進地の成功事例等を踏まえながらご教示頂いた。
アドバイザー への要望事項	特にありません。	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

5-3. 今後の計画

事業の最終的な目指す姿

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年10月16日	13時30分	16時00分		150
3-2.	会場名	舞鶴市役所内 会議室		最寄駅	東舞鶴
派遣場所	所在地	京都府舞鶴市字北吸1044			
	最寄駅からの交通手段	タクシー5分(徒歩15分	分程度)		

4.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可 ○掲載可

5 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果				
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数		
	職員	5 人		
5-2. 支援を受けるにあたって目指した	こ 成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した	成果•効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	現行のネットワークシステムは、地元事業者が設計及び構築を行っており、多様化する用途に耐えられないのではと懸念している。5年後を見据えた更新を行いたいが、普通教室での活用に耐えられるネットワーク構成やシステムの設計について、助言をいただきながら進めたい。また、校務系ネットワークとのファイル共有など、国が求める内容と現場の利便性、多くの製品から何を選定するべきか悩んでいる。			
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	最終目標 次期ネットワークシステムの設計完了 達成時期 11月			
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・事業者より提出のあったRFIの内容について、 すべき 事項についての助言をいただいた。 ・事業者毎の強み等を活かしたシステム構築につい ・学校でICT利活用が進むための体制について、	ての構成案についてご提案いただいた。		
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・仕様書は、高速な通信回線を提供可能な通信事業者と教育部門のシステム設計に長けた事業者の提案を併せた内容で作成する。 ・仕様書は、ハード面の記載に加えて、教育に係る内容を記載することとする。 ・学校でのICT利活用を推進するためにも、学校に派遣するICT支援員は、退職教員(校長)の雇用を仕様に記載することを検討する。			
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他		
	仕様書に含める内容			
改善又は解決されなかった内容	・調達仕様書案の作成			
持ち越しとなった内容				
(具体的にご記入ください)				
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりについてご記入下さい。(EXCELやPDFでのアンケートを行わなかった場合はその理由をご記入	分析結果を添付されても結構です。) 下さい。		
	アンケートを必要としていないため、実施していません。			

最も当てはまるものリストより選択下さい

• 調達仕様案の作成

②次年度に予算化を図り推進する

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



